

「平成28年度 かながわ建設ガイダンスセミナー」開催結果

1. セミナー開催概要

- (1) 名 称 平成28年度 かながわ建設ガイダンスセミナー
～災害から地域を守り・支える建設業の役割と魅力！～
- (2) 主 催 一般社団法人 神奈川県建設業協会、神奈川県建設産業団体連絡協議会
- (3) 後 援 等 後 援 神奈川県・神奈川県教育委員会
協 力 神奈川県高等学校教科研究会工業部会 建設工芸専門部
- (3) 開催日程 平成28年7月11日（月）午前10時～午後0時30分
- (4) 開催場所 「戸塚区民文化センター さくらプラザ」戸塚区総合庁舎内
- (5) 参加者 県内工業系高校建設系学科生徒等約400名、及び関係者50名
※参加校～向の岡工業高校（2年）、神奈川工業高校（1年）、磯子工業高校（2年）、
藤沢工科高校（2年）、小田原城北工業高校（2年）、川崎総合科学高校（2年）

2. 講演等の内容

◆開会あいさつ （一社）神奈川県建設業協会会長 小 俣 務



「地域建設業は、建物や道路の整備だけでなく、大規模地震や豪雨、大雪等の災害時に出勤し道路を切り開いたり、復旧復興に行うことも重要な役割。建設業の災害時の社会的役割や重要性・魅力について、山村先生の講演や先輩若手技術者の話等を通じて感じてもらい、進路選択に役立ててもらいたい。」とあいさつ。

◆第1部 基調講演『最近の災害に学ぶ～命と社会を守る建設業の使命と責任～』

講師～防災システム研究所所長 山村 武彦氏



(要旨) 熊本地震など、近年発生した大規模自然災害を映像と音響で紹介するとともに、その教訓を踏まえた防災・危機管理意識についての啓発、インフラの整備や災害時の即時対応などに貢献する建設業の社会的役割・意義を高校生にもわかりやすく伝えた。

(主な項目は以下のとおり)

- ・熊本で何が起きたか～想定外の活断層大地震と群発余震の連続、20万人の避難者、数千台の車中泊、備蓄の少なさ、建築基準法の死角となる揺れによる損壊
- ・命と社会を守る建設業の使命と責任
安全な建物に住む(する)防災、建設業は男のロマン
- ・巨大地震発生! その時 どうなる、どうする!
耐震化～建設業の責任、スマート防災、火を出さない準備と訓練、どこにいてもいざという時の想定を

◆第2部 パネルディスカッション『建設業の魅力って、こうなんです!』



○コーディネーター (株)建設経営サービス 主席コンサルタント 橋本 秀和氏

○オブザーバー 神奈川県県土整備局建設業課課長代理 田所 孝雄氏

○パネラー (若手技術者等5人)

- ・大洋建設(株)(横浜市戸塚区)主任 堀内 孝明さん(26)(建築)
- ・三和工業(株)(藤沢市)土木設計・積算担当 浜田 哲寛さん(31)(土木)
- ・(株)都実業(鎌倉市) 職長補佐 村上 諒さん(20)(土木)
- ・増田工業(株)(平塚市)工事主任 山口 利晃さん(31)(建築)
- ・(株)渡辺組(横浜市中区)積算・設計担当 前納 沙希さん(25)(建築)

<CCI神奈川の紹介及びパネラーへの質問、回答等>

まず、県建設業課の田所課長代理から業界イメージアップの取組を行っているCCI神奈川(県魅力ある建設事業推進協議会)の活動について映像を交えて紹介した。

次に、進行役の橋本氏が、各パネラーの会社での仕事ぶりを現場の映像を紹介しながら、次の質問によりパネラーから自身の経験や考えを語ってもらった。

- ①建設業界を選択した理由、経緯
- ②経験した仕事、現在の仕事
- ③やりがい・充実感を感じたこと
- ④仕事で苦労した事、失敗したこと



<みなさんからの質問コーナー>

会場の高校生の代表3人（磯子工高、向の岡工高、川崎総合科学高）から「まだ就職について真剣には考えていないが、どう準備していけばいいか?」「女性で得したこと、損したことは?」「給料や勤務時間、休暇はどうなっているか?」という趣旨の質問があり、パネラー、オブザーバーからわかりやすく回答した。



<パネラーから皆さんへのメッセージ他>

5人のパネラーが、それぞれの実体験を踏まえた自身の思いを、後輩へのアドバイスとして会場の高校生に熱く語ってもらった。

最後に、県の田所課長代理から講評があり、パネルディスカッションを終了。

◆閉会のことば (一社)神奈川県建設業協会 長谷川 辰巳 副会長

「山村先生から、災害現場の状況と建設業の対応、また、若手技術者からは、現場の実情や苦労話などがあり、建設業の重要性が少しわかってもらったかな、と思っている。

協会では他にも高校生向けの取組を種々行っており、将来新たな担い手になってもらうことを期待する。」とあいさつし、ガイダンスセミナーを終了した。

